

昭和医科大学歯学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・卒業時の達成目標）

「至誠一貫」の精神のもと、歯学を通して真心と情熱をもって、医療の発展と国民の健康増進と福祉に寄与する優れた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するための特色あるカリキュラムを通して、定められた修業年限の中で以下に関する基本的能力を身につけた者に、学士（歯学）の学位を授与します。

1. プロフェッショナリズム

- ・ 歯科医師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。
- ・ 医療を実践するための法律やルールを遵守し、医療安全に配慮する。

2. コミュニケーション能力

- ・ 多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築くことができる。
- ・ 患者や地域住民、医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。

3. 患者中心のチーム医療

- ・ 医療をともに担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、良好な人間関係を構築し、患者にかかわる情報を共有できる。
- ・ 多職種と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践できる。

4. 専門的実践能力

- ・ 患者・家族の心理・社会的な背景を把握したうえで、基礎歯学・臨床歯学の幅広い知識と技能を有し、科学的根拠に基づいた歯科医療を実践する能力を有する。
- ・ 科学的探究心に基づいて医療・歯学に関わる問題を発見し、客観的・批判的に整理した情報を活用して解決するための能力を有する。

5. 社会的貢献

- ・ 地域社会において保健・医療・福祉に貢献できる。

6. 自己研鑽

- ・ 最新の知識や技能、必要な情報を、国際的視野に立脚して生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。

7. アイデンティティ

- ・ 昭和医科大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。